

飼育員が北極で採集しました！ 北極の生き物たちを追加展示、展示作業を一般公開します

海遊館（大阪市港区）では、2023年12月8日（金）より、館内「北極圏」にて、飼育員が北極で採集した生き物たち10種40点を展示します。また、同日11時から展示作業をお客様にご覧いただきながら、解説を行います。



クサウオの仲間（海遊館初展示種）



ワトルドイールパウト（海遊館初展示種）

海遊館では、2023年6月28日から8月1日までの約1ヶ月間、北海道大学の練習船「おしよる丸」が実施した北極航海調査に飼育員が同行し、魚類やエビ・カニなど約40種400点の生き物を採集しました。クリオネなど一部の生き物は8月4日から展示中で、今回、海遊館初展示となる「クサウオの仲間」を含む10種40点を新たに追加展示します。

展示作業は通常閉館後や開館前に行いますが、北極のことをより知っていただきたいという思いから、ゲンゲの仲間であるワトルドイールパウトなど一部の生き物を営業時間中に展示し、生き物や水槽づくりなどの展示作業、さらには北極での調査について、北極で採集を行った飼育員が解説します。

海遊館では、今回の展示を通し、生き物や自然環境に興味を持っていただく機会を提供したいと考えています。

【 「展示作業の一般公開」について 】

日 時：2023年12月8日（金） 11:00～11:15（約15分間）

展示場所：館内エントランスビル 3F「北極圏」

展 示 種：ワトルドイールパウトなど、計2種

※生物の状況により、予告なく展示期間や展示数を変更する場合があります。

本件に関する広報連絡先

取材や素材提供をご希望の場合は下記までご連絡ください。

海遊館広報・宣伝チーム 06-6576-5529